

平成29年度 県学習状況調査

能代市分析結果

能代市教育委員会

目 次

I	実施の状況	1
II	教科に関する調査結果	
1	概要について	2
2	各学年の結果について	
(1)	小学校4年生平均正答率	3
(2)	小学校5年生平均正答率	4
(3)	小学校6年生平均正答率	5
(4)	中学校1年生平均正答率	6
(5)	中学校2年生平均正答率	7
III	質問紙調査結果	8



I 実施の状況

1 実施目的

学習指導要領の内容の定着度等を把握し、本県が進める少人数学習の成果や課題を捉え、学習指導の工夫改善を図るとともに、全国学力・学習状況調査、本調査及び高校入試を活用して、学習指導における検証改善サイクルを確立し、児童生徒の学力向上に資する。

2 実施学年

小学校4年生～中学校2年生



3 実施教科

小学校 4年生：国語、算数、理科
小学校5、6年生：国語、社会、算数、理科
中学校1、2年生：国語、社会、数学、理科、英語

4 調査内容

- ①教科に関する調査
- ②質問紙調査

5 実施期日

平成29年12月6日（水）、12月7日（木）

※ 各教科における「2 各学年の結果について」は、本市の平均正答率が県の平均正答率を下回った問題あるいは設定通過率を下回った問題の中から、特に、指導方法の工夫改善が求められる内容を掲載しております。

※ 「Ⅲ 質問紙調査結果」は、全国学力・学習状況調査の質問内容と重なった部分については、除いている項目もあります。学習意欲や学習状況、読書、規範意識等について掲載しております。

Ⅱ 教科に関する調査結果

1 概要について

小・中学校とも、良好な状況です

<小学校>

(1) 県平均を上回る教科

全11教科、すべてにおいて県平均を上回っています。

4年生	国語、算数、理科
5年生	国語、社会、算数、理科
6年生	国語、社会、算数、理科

*県平均を大きく上回る教科（5ポイント以上）

4年生	理科
5年生	国語、社会、算数、理科
6年生	国語、社会、算数

(2) 昨年度との比較から

- ・昨年度と同様、県平均を下回る教科はありません。これは5年連続となります。
- ・県平均を5ポイント以上上回る教科が、昨年度より増えて8教科ありました。（昨年度：6教科）

<中学校>

(1) 県平均を上回る教科

10教科中、9教科において県平均を上回っています。
（1年生の理科が県平均と同じ数値）

1年生	国語、社会、数学、英語
2年生	国語、社会、数学、理科、英語

*県平均を大きく上回る教科（5ポイント以上）

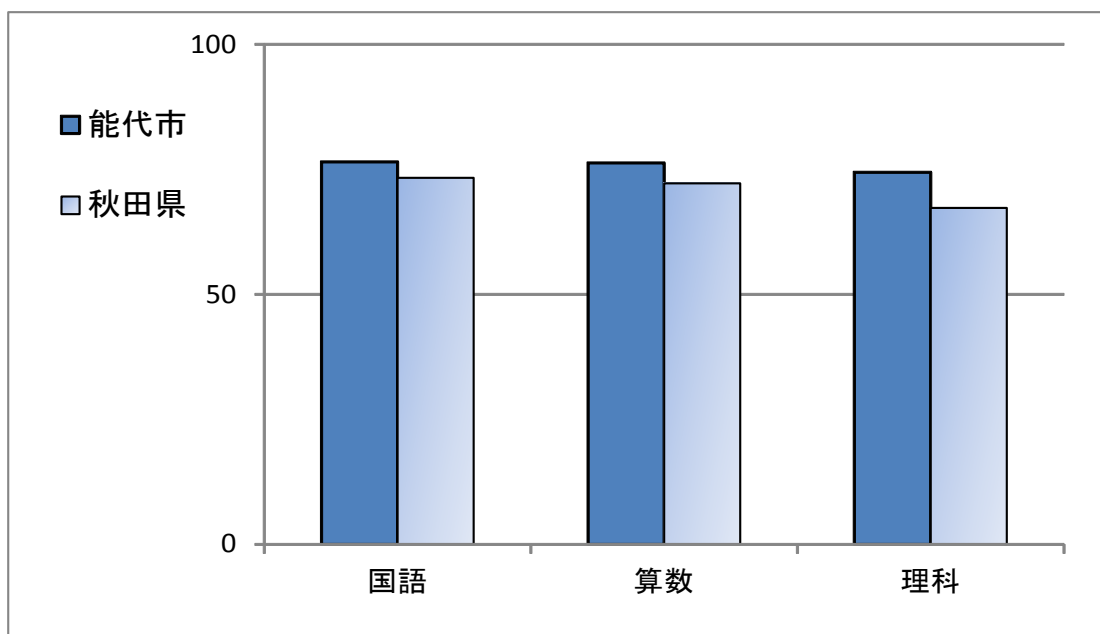
2年生	社会
-----	----

(2) 昨年度との比較から

- ・5ポイント以上県平均を上回る教科が昨年より減少しました。
（昨年度 1年生：数学 2年生：社会、英語）

2 各学年の結果について

(1) 小学校 4 年生平均正答率



☆ 各教科とも良好な状況です

○全ての教科が県平均を上回る。特に、理科は5ポイント以上上回っている。

<国語> 12問中、11問で県平均を上回る。昨年度県平均を下回った「ローマ字を書く」においては、県平均を1.9ポイント上回る。ただし、通過率は49.3ポイントと低い。

<算数> 20問中、18問で県平均を上回る。特に、「分数の意味理解と表現」においては、10ポイント程度県平均を上回る。

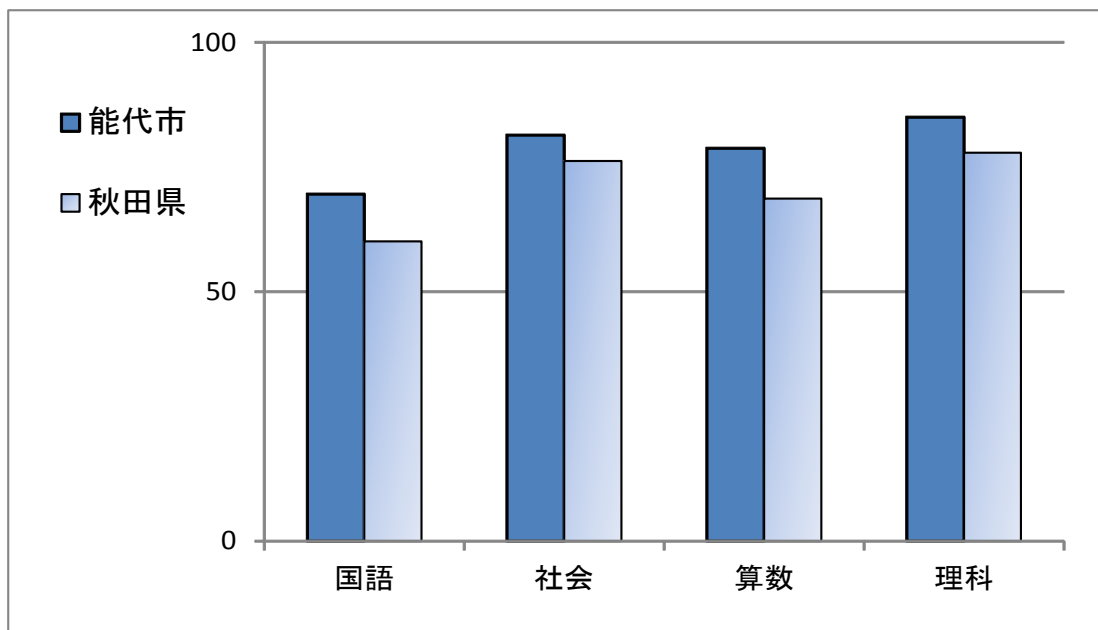
<理科> 12問中、全て県平均を上回る。特に、「植物の成長」「磁石の性質」「光電池の働き」「月の形」においては、10ポイント以上県平均を上回る。

★県平均を下回る主な課題・設問(▼特に県平均を5ポイント以上下回った問題)

国語	①漢字を書く(勇ましく)
算数	②小数の減法 ⑤重さについての重感覚

* 小4では、県平均を5ポイント以上下回る問題はありませんでした。

(2) 小学校 5 年生平均正答率



☆ **各教科とも大変良好な状況です**

○全ての教科が県平均を5ポイント以上上回る。特に、算数は10ポイント以上上回っている。

＜国語＞20問中、全て県平均を上回る。特に、「漢字を読む（河口）」「漢字を書く（周囲）」「修飾・被修飾の関係」「慣用的な表現についての理解」「知識や情報を関連付けて話す」「読んで考えたことを広げ深める」においては、10ポイント以上県平均を上回る。

＜社会＞20問中、19問が県平均を上回る。特に、「地図の読み取りと地図記号」「地域の販売の工夫」においては、県平均を10ポイント以上上回る。

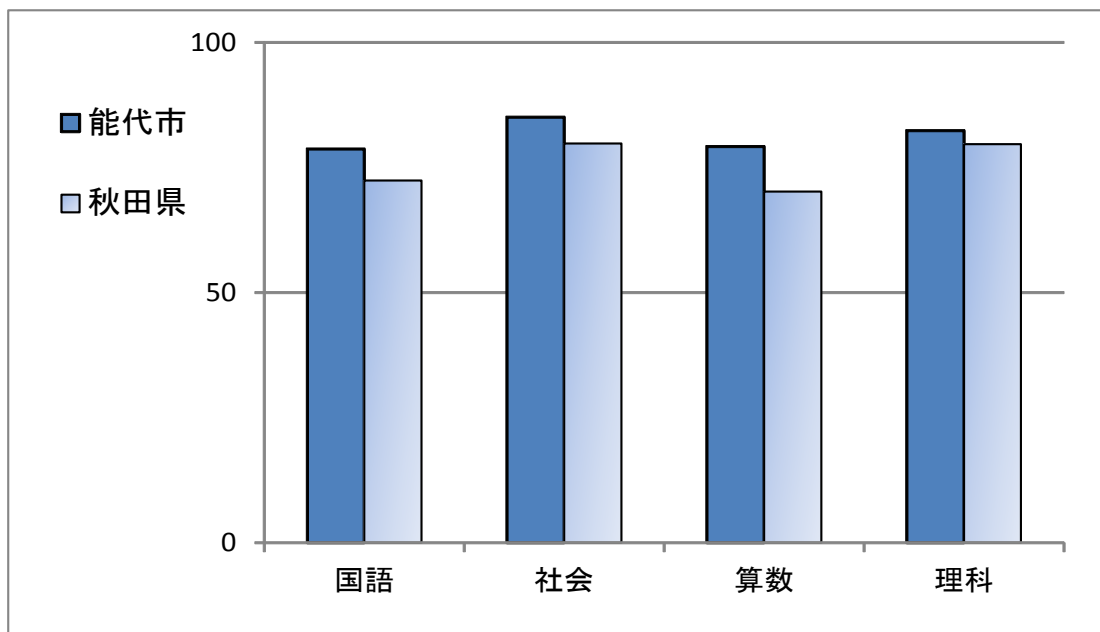
＜算数＞20問中、全て県平均を上回る。県平均を10ポイント以上上回っている問題が8問あり、そのうち「面積の単位」「図形の定義や性質を用いた説明」においては、20ポイント以上県平均を上回る。

＜理科＞20問中、全て県平均を上回る。特に、「星座早見の使い方」「水が氷になるときの温度変化」「空気の温度による体積変化を調べる実験計画」「台風の降雨による影響」「ヒメダカの子どもが生まれるようにするための飼育方法」においては、10ポイント以上県平均を上回る。

★県平均を下回る主な課題・設問(▼特に県平均を5ポイント以上下回った問題)

社会	⑰水産物の価格▼(店の魚の値段の付け方についての4択問題)
----	-------------------------------

(3) 小学校 6 年生平均正答率



☆ 各教科とも、大変良好な状況です

○全ての教科が全県平均を上回る。特に、国語、社会、算数は県平均を5ポイント以上上回っている。

<国語> 20問中、全て県平均を上回る。特に、「漢字を書く(複雑)」「文の構成」「内容の理解」においては、10ポイント以上県平均を上回る。

<社会> 20問中、19問が県平均を上回る。特に、「弥生時代と米づくり」「鎌倉幕府の政治」「伊能忠敬の業績」においては、10ポイント程度県平均を上回る。

<算数> 20問全て県平均を上回る。県平均を10ポイント以上上回っている問題が9問あり、そのうち「必要な情報の読み取りと数学的な説明」においては、20ポイント以上県平均を上回る。

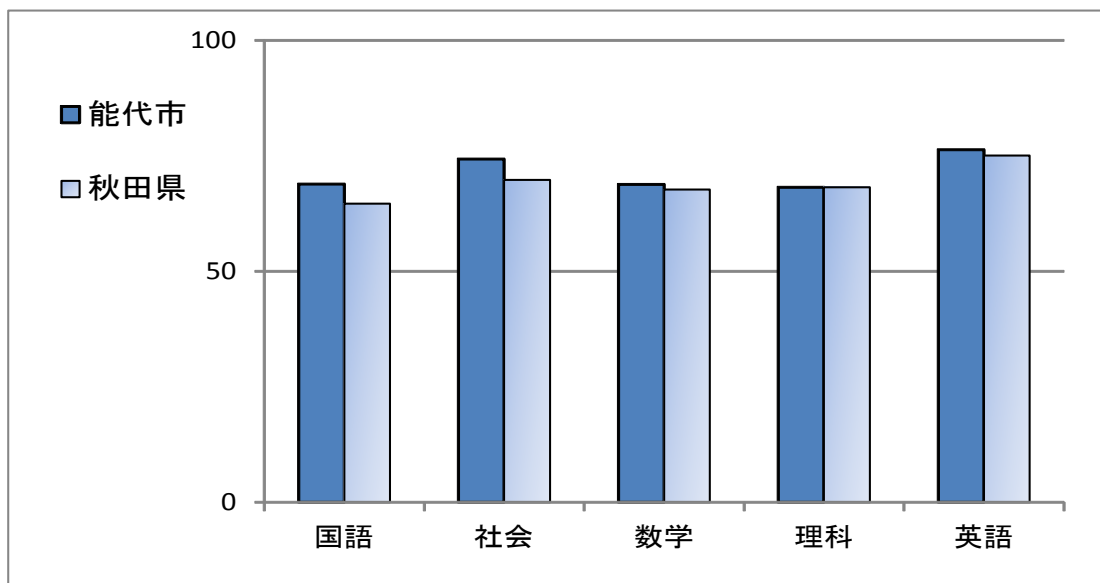
<理科> 20問中、14問が県平均を上回る。特に、「物の溶け方」「へその緒の働き」「食物連鎖による生物どうしのつながり」「肝臓の名称や働き、体内の位置」「植物の水の通り道」においては、5ポイント以上県平均を上回る。

★県平均を下回る主な課題・設問(▼特に県平均を5ポイント以上下回った問題)

社会	⑥災害防止のためにできること
理科	②川の場合による侵食作用の違い ⑧顕微鏡の使い方 ⑬物が燃えるときの酸素の割合の変化 ⑯呼吸により出入りする気体 ⑱蒸散の仕組み ⑲月の見える位置

* 小6では、県平均を5ポイント以上下回る問題はありませんでした。

(4) 中学校 1 年生平均正答率



☆ 各教科とも良好な状況です

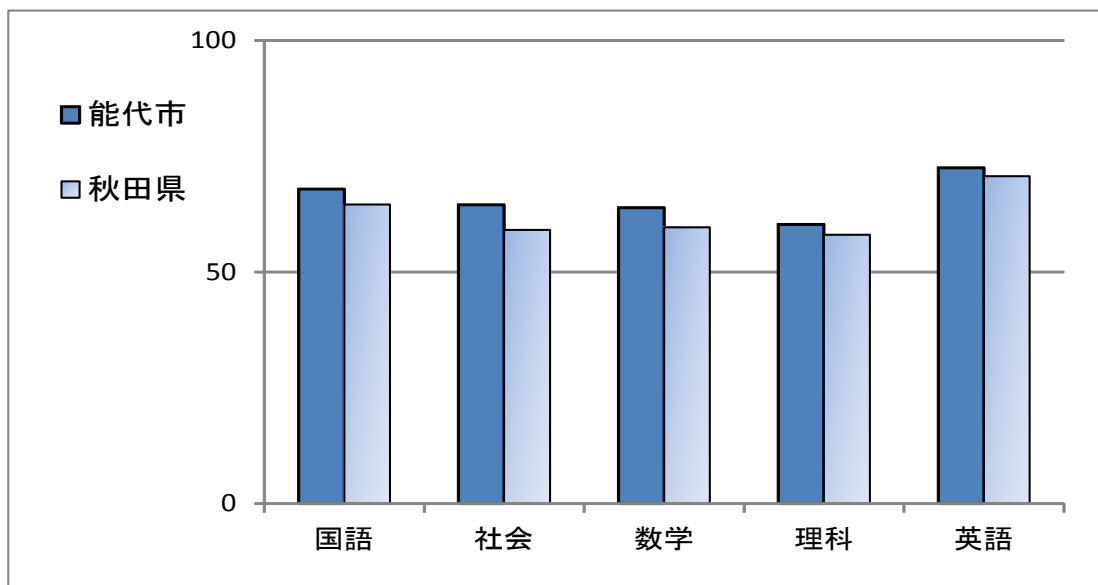
○理科以外の教科が全県平均を上回る。(理科は全県平均と同じ数値)

- <国語> 20問中、14問が県平均を上回る。特に「漢字を書く(敬う)」「表現技法(比喩)についての理解」「スピーチの構成についての理解」「目的や必要に応じた要約」においては、10ポイント以上県平均を上回る。
- <社会> 20問中、16問が県平均を上回る。特に、「熱帯に暮らす人々の生活の工夫」「世界の諸地域に関する資料の読み取り」においては、10ポイント以上県平均を上回る。
- <数学> 20問中、14問が県平均を上回る。特に、「数量の関係」においては、10ポイント程度県平均を上回る。
- <理科> 20問中、10問が県平均を上回る。特に、「てこがつり合う条件」においては、10ポイント程度県平均を上回る。
- <英語> 19問中、11問が県平均を上回る。特に、「買いたい果物についての聞き取り」においては、10ポイント程度県平均を上回っている。

★県平均を下回る主な課題・設問(▼特に県平均を5ポイント以上下回った問題)

国語	①漢字を読む(問屋) ⑨慣用句の意味の理解 ⑩歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す ⑭段落相互の関係を捉える ⑰中心的な部分と付加的な部分の読み分け、要旨を捉える ⑲文章の構成や展開、表現の特徴の理解
社会	③オリンピックの開催 ④冬季オリンピックが開かれた県の位置 ⑤地方公共団体の政治の動き ⑪地球儀(模式図)の活用と日本の位置
数学	②式の値 ④分数係数の一次方程式 ⑦体積を表す単位の関係 ⑮柱状グラフの読み取り ⑱一次方程式の利用▼(方程式をつくる文章問題) ⑳文字式と図の関係
理科	①同じ量の電気をためるための条件 ②電気の利用▼(コンデンサーにためた電気に関する穴埋め問題) ③発光ダイオードの利点 ④リトマス紙の使い方 ⑤水溶液の同定 ⑧てこが水平につり合うときのきまり ⑬酸素の発生方法 ⑭気体の性質 ⑮道管の役割▼(水の通る決まった通り道の名称の問題) ⑯蒸散の仕組み
英語	⑦友達との会話における適切な応答 ⑪メール文の内容に対する適切な返信 ⑫適切な会話の構成 ⑬適切な会話の構成 ⑮be動詞を用いた疑問文の作成 ⑰返信メールの内容を踏まえた英文作成 ⑱be動詞を含む疑問文の構造 ⑲三単現を含む疑問文の構造 ⑳三単現を含む否定文の構造

(5) 中学校 2 年生平均正答率



☆ 各教科とも良好な状況です

○全ての教科が全県平均を上回る。特に、社会は県平均を5ポイント以上上回っている。

＜国語＞ 20問中、13問が県平均を上回る。特に、「登場人物の言動の理解」「根拠を明らかにして考えを書く（作文）」については10ポイント以上、「主人公の心情の変化を捉える」については20ポイント以上県平均を上回る。

＜社会＞ 20問中、18問が県平均を上回る。特に、「世界の様々な地域の調査（考察）」「古代の文化の移り変わり」「中世の農村と都市の変化」においては、10ポイント以上県平均を上回る。

＜数学＞ 20問中、19問が県平均を上回る。特に、「関数の意味」においては、20ポイント程度県平均を上回る。

＜理科＞ 20問中、15問が県平均を上回る。特に、「重力の表し方」「細胞壁の働き」については、10ポイント程度県平均を上回る。

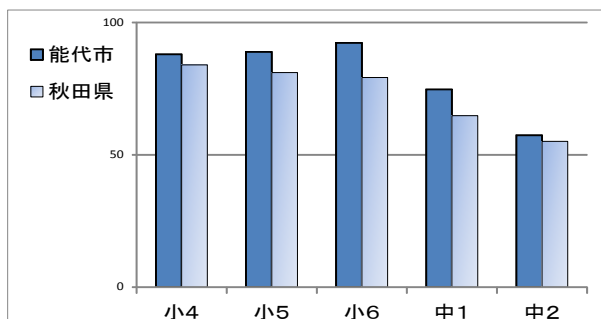
＜英語＞ 20問中、16問が県平均を上回る。特に、「送信メールの内容を踏まえた英文作成」については、5ポイント程度県平均を上回っている。

★県平均を下回る主な課題・設問(▼特に県平均を5ポイント以上下回った問題)

国語	③話の構成や展開に注意して聞き取る ④漢字を読む(岐路) ⑥漢字を書く▼(把握) ⑦漢字を書く(巡る) ⑧四字熟語▼(針小棒大) ⑨同音異義語 ⑮文章の内容を捉える
社会	⑱鎖国政策 ⑳江戸時代の教育の普及と文化の広がり
数学	⑥一次関数の変化の割合の意味
理科	⑤地層が傾いている方角 ⑥光の屈折による物の見え方▼(光の屈折を真上からみた様子 の4択問題) ⑩浮力の変化▼(ばねばかりが示す値の変化の3択問題) ⑮銅と酸素の質量の比▼(酸化銅に関する規則性の問題) ⑱ヒトの呼吸の仕組み
英語	③トムがしたことについての聞き取り ⑤明日の天気についての聞き取り ⑥友達との会話における適切な応答 ⑱have to を含む肯定文の構造

Ⅲ 質問紙調査結果

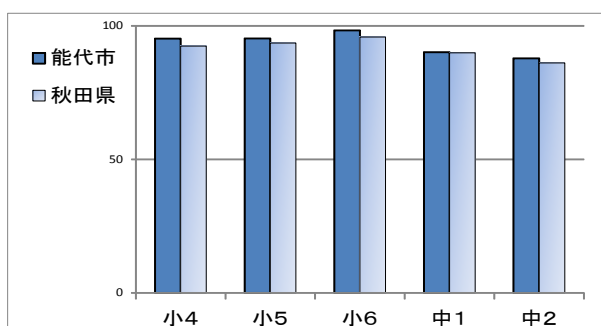
1 勉強が好きだ



「強くそう思う」と「そう思う」の割合

全ての学年で県平均を上回っています。特に、小6と中1では、県平均を10ポイント程度上回っています。日頃から先生方が、児童生徒の興味・関心を高める授業づくりに取り組んでいることが分かります。秋田の探究型授業への取組も引き続きお願いします。

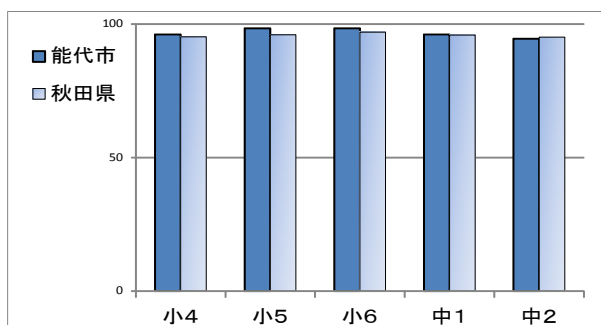
2 学校の勉強がよくわかる



「強くそう思う」と「そう思う」の割合

全ての学年で県平均を上回っています。昨年同様、各校の授業改善に対する取組が確実に成果を上げていることが分かります。特に、小4から中1までは90%以上の児童生徒が「学校の勉強がよくわかる」と答えています。児童生徒の実態を考慮した指導を今後もお願いします。

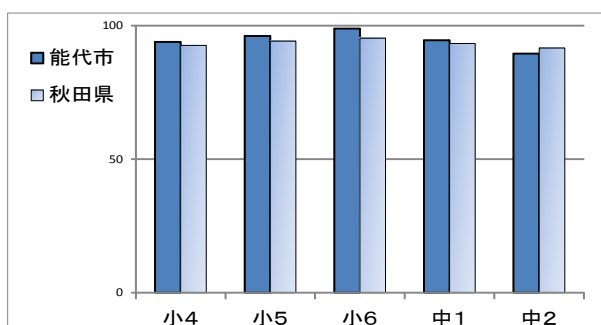
3 ふだんの生活や社会に出て役立つよう、勉強したい



「強くそう思う」と「そう思う」の割合

小4から中1までは県平均を上回りましたが、中2がわずかに県平均を下回りました。次期学習指導要領に向けた3つの柱の1つである「学びを人生や社会に生かそうとする『学びに向かう力・人間性』の涵養」を意識し、工夫改善に努めてほしいと思います。

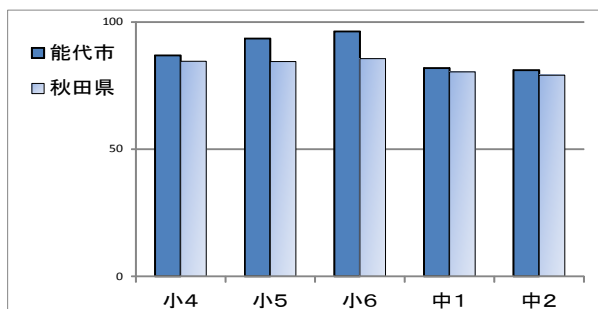
4 学校が楽しい



「強くそう思う」と「そう思う」の割合

小4から中1までの90%以上の児童生徒が、学校を楽しんでいると感じています。残念ながら中2は県平均を下回りましたが、どの学年にも楽しいと感じていない児童生徒がいることが予想されますので、集団の中で自己存在感を味わわせるなどの配慮が必要です。

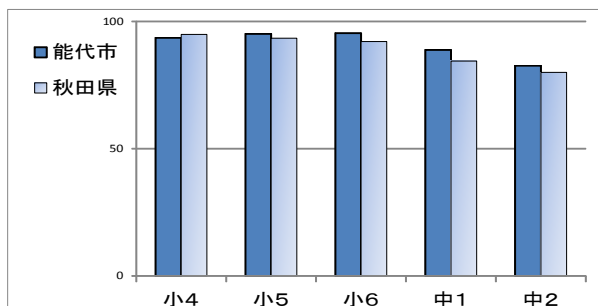
5 自分にはよいところがあると思う



「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合

小5と小6は、県平均を10ポイント程度上回っています。一人一人に活躍する場を与え、児童生徒が褒められたり認められたりする機会を多くつくって自信をもたせることで、自己肯定感を高めてほしいと思います。

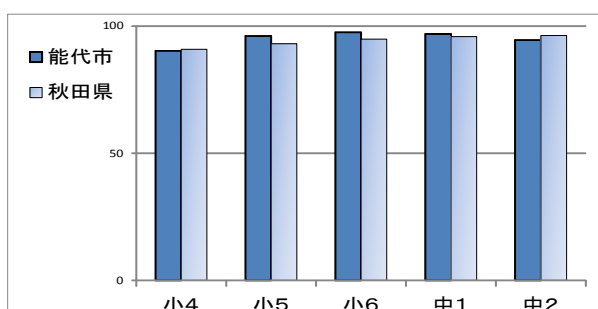
6 将来の夢や目標をもっている



「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合

小4が県平均をわずかに下回りました。小・中の接続や進路指導など各校で丁寧に行っていることと思いますが、教育活動全体の中で目標をもって取り組ませる場面を設定してほしいと思います。引き続き、キャリア教育の充実もお願いします。

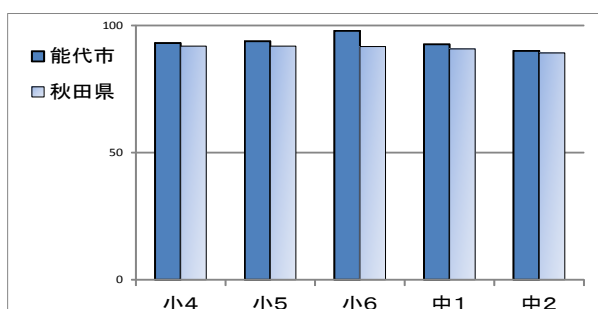
7 学校のきまりを守っている



「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合

県平均を下回った学年もありますが、ほとんどの児童生徒が学校のきまりを守っていることがうかがわれます。今後も、きまりを守ることの大切さについて意図的に取り上げ、児童生徒の規範意識を育てていくことが大切です。

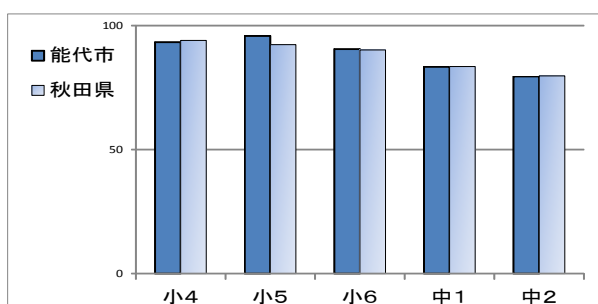
8 地域のためになる活動に取り組みたいと思う



「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合

すべての学年で90%以上の児童生徒が肯定的な回答をしています。各校で力を入れているふるさと教育・キャリア教育の成果が表れています。今後も「地域のために何ができるか」という郷土に対する意識を高めてほしいと思います。

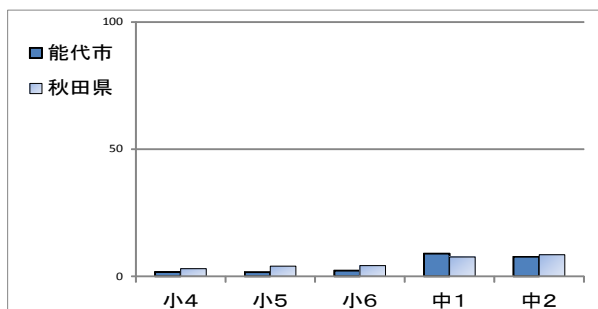
9 理科が好きだ



「大好き」と「好き」の割合

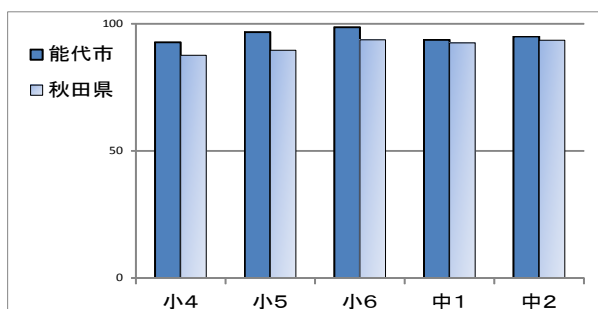
昨年度、3年ぶりに県平均を上回った理科ですが、質問紙においては、中学生の肯定的評価が低くなっています。「不得意」を理由に選択している生徒が多いことから、個に応じた指導の必要性を感じます。

10 1か月に本を1冊も読まない（不読率）



昨年度まで2年連続で不読率が県平均を下回っていましたが、今年度は中1がわずかに上回りました。学校図書館担当教員や学校図書支援員のおかげで、学校図書館の環境が整えられていますので、効果的・計画的に活用できるような取組をお願いします。

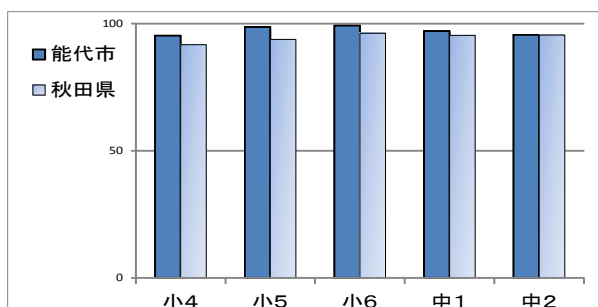
11 ふだんの授業では、自分の考えを発表する機会があると思う



「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合

全ての学年において、90%以上の児童生徒が、授業中に発表する機会を与えられていることを実感しています。活躍の場を与えて児童生徒の自己有用感を育むことで、自己肯定感も高くなっていくことが考えられます。

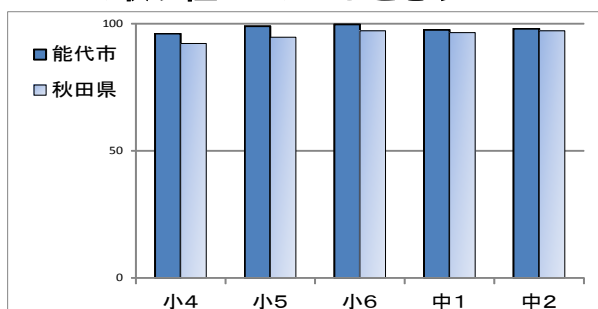
12 ふだんの授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っているとと思う



「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合

全ての学年において、95%以上の児童生徒が、話し合いのよさを実感しています。ペア活動やグループ活動、全体の場での様々な学習形態等を工夫して、主体的・対話的な授業づくりに努めている成果が数値に表れています。

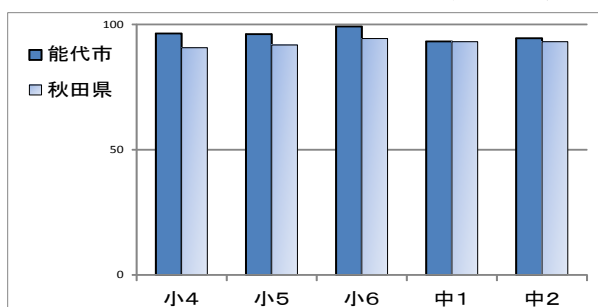
13 ふだんの授業では、はじめに授業の目標（めあて・ねらい）を立てて取り組んでいると思う



「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合

昨年に引き続き、全ての学年ではほぼ100%に近い割合でした。児童生徒の言葉を引き出して学習課題をつくっている授業が多く見られ、先生方が児童生徒に必要感をもたせて授業に臨ませている表れだと感じています。

14 ふだんの授業では、最後に振り返る活動をよく行っているとと思う



「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合

全ての学年において、90%以上の児童生徒が、振り返りを意識した授業を実感しています。身に付いた知識や技能を確認するとともに、学びの充実感や達成感を味わわせることで、学力向上に結び付けていきます。